

はじめに

2005年都立白鷗はくおう高校は附属の中学校を開校（あるいは新設）。いわゆる「中高一貫校」として新たな教育の道を歩みはじめました。

そしてその6年後。

初めての東大合格者が現れる……。

それを機にいわゆる【都立中高一貫校バブル】が起きました。

「中高一貫校は学費は公立並なのに質の高い学力をつけられる」

そう考えた親御さんたちはこぞって我が子を中高一貫校に【じゅけん】させようとなりました。その影響は私が運営している塾に、数多くの問い合わせというかたちで表れました。

私が運営している塾は、東京下町・荒川区町屋、都電沿線にある学習塾です。

まわりを見れば、

- ・都立白鷗高等学校付属中学校
- ・都立小石川中等教育学校
- ・都立両国高等学校付属中学校
- ・千代田区立九段中等教育学校
- ・国立東京大学教育学部付属中等教育学校

これらの学校の通学範囲であることから当教室は毎年保護者の方から大人気の塾となっております。もちろん、それだけが人気の決め手というわけではないですけれども。

『都立中高一貫校をじゅけんしたいと思っています』

この一言から始まる保護者面談で私は、『失礼ですが、お母さんは都立中高一貫校じゅけんについて、

どのぐらいご存じでしょうか？』とお伺いします。

その際、まったく知らないとおっしゃる保護者の方が実に多く、実は都立中高一貫校のじゅけん形態は、皆さんがイメージする私立のそれとはまったく異なる選抜方法なのです。

保護者たちは、そのことを知らずに学習塾の門を叩きます。

私はここでひとつ断言できることがあります。

それは、都立中高一貫校を安易に選択することは間違っているということです。

なぜなら、お子様によつて中高一貫校が合う子・合わない子がいるからです。私は20年以上現役の学習塾講師として、常にその時代の子どもたちを見てきました。

だからそう断言できるのです。

お子様のため……その気持ちは痛いほどわかります。でもその気持ちは結局間違った結果を生んでしまつたら、不登校や心の病などのさまざまな問題が生じます。

ただ、お金のために学習塾経営者として働いているのなら、こんなことは言いません。

私は塾講師でもあり、一人の父親でもあります。だからこそ、これ以上何もわかっていない保護者の方たちがわが子を中高一貫校に……なんて、簡単に選択してほしくない。

じゅけんをもっと深く知ってほしい……

そんな気持ちから、この本を書くことに決めました。

この本は、当教室、【自由塾町屋教室】の講師たちが都立中高一貫校じゅけんとは何か、をテーマに、

- ・ 検査の概要
- ・ 勉強方法
- ・ どんな子が都立中高一貫校じゅけんに向いているのか
- ・ ご家庭でのサポートの仕方

さらに保護者の方が知ることがない、

・元都立中高一貫校校長

・模試の作成会社

こちらに赴き、校長先生や模試作成の担当者との貴重なインタビューも掲載しました。

結果としてこの本は、都立中高一貫校じゅけんの取扱説明書、

つまり、「じゅけんのトリセツ」として完成することになりました。

ひとつ断っておきます。この本を読んでも、都立中に合格できるわけではありません。あくまで取扱説明書です。

ただ、この本を読み終わった後には、

・都立中じゅけんがどんなものなのか

- ・どんな学力が必要なのか
- ・どんな子になっていくのか

これらをしつかりと深く理解できるようになっています。

合格の保証はできませんが、合格に近づける可能性はかなり高くなると言えます。

この本「じゅけんのトリセツ」が、あなたの大切なお子様の素敵な中学校選びの助けとなることを祈って……。

それでは、しばし私たちと共に勉強しましょう。

自由塾町屋教室